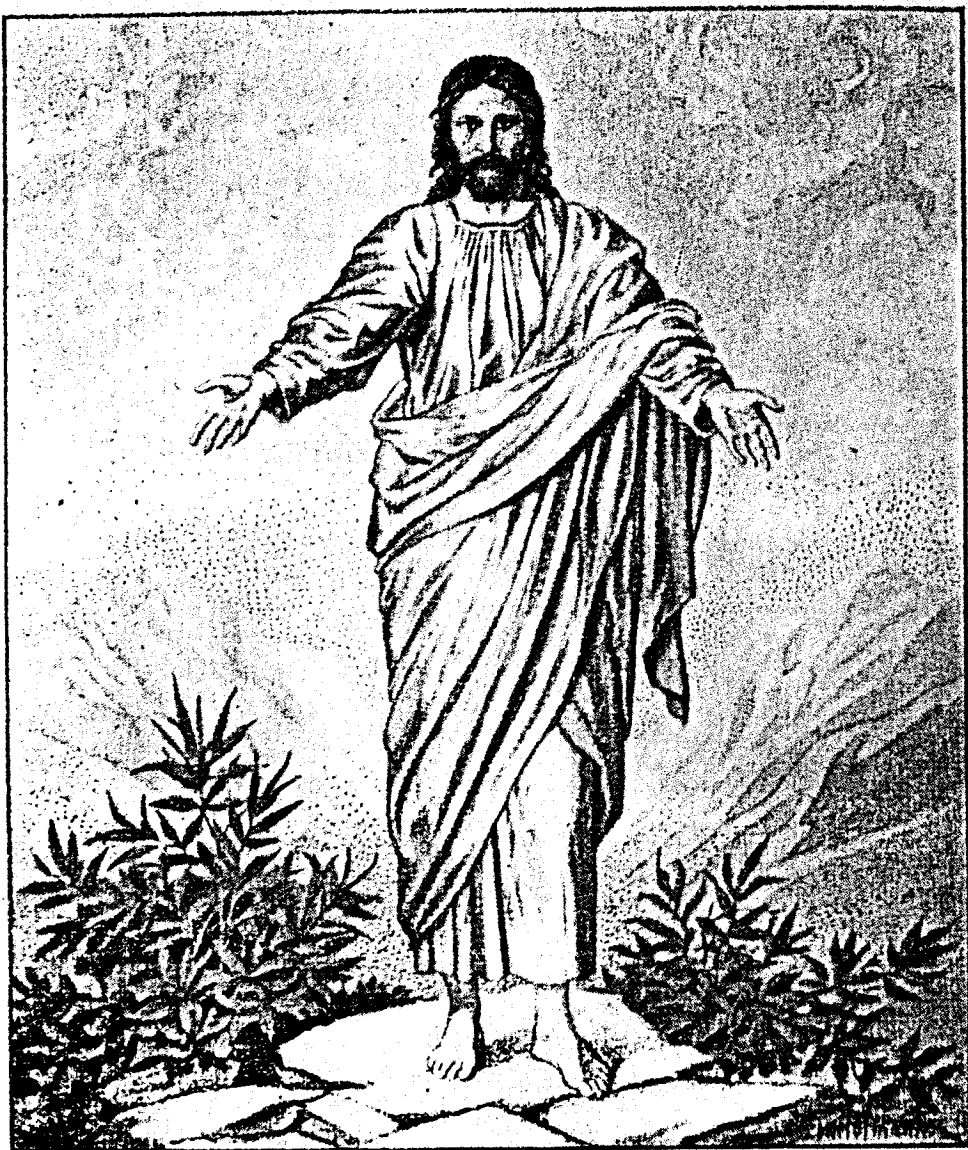


# 道 徒 の 聖



末日聖徒イエス・キリスト教会



この故に

悔い改めて幼児のごとく

われに來る者は

われのごとく

これを受け容るべし

かかる者はすでに

神の王国に居るものと

同じなればなり

見よ

われはかれらのために

一度わが生命を捨てて

また生命を得たり

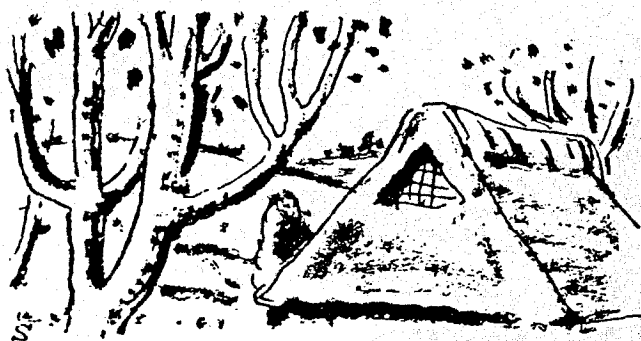
故に

世界の隅々に

至る者たちよ

悔改めをなし

われに來りて救いを受けよ



## 聖徒の道 1960年4月号

### 〔予言者のことば〕

完成に向って……デビッド・O・マッケイ…(98)

### 〔伝道部長メッセージ〕

復活祭を迎える心の準備

……ポール・C・アンドラス…(101)

### 「モルモンの教義」

「贖い」と「救い」(11)……佐藤竜猪…(104)

### 極東に於けるモルモン

私の改宗……中東幹夫…(108)

聖句集「キリストの復活」……(110)

我が教会の教育計画……(111)

証詞とは何か

ジョセフ・フィールドディング・スミス……(118)

末日聖徒イエス・キリスト教会歴史粹(4)

ジョセフ・フィールドディング・スミス……(120)

復活は真実なり……スペンサー・W・キンボール(124)

伝道本部だより……(127)

誠命であるが、神が人間にたもうた最大の賜物である人間の永遠の救いは、人間の智識次第によって得られるということを知るときに人はその完全な意味を一層よく悟るであろう、それは「人は無智にして救われること不可能なり」(教義と聖約百三十一〇六)であるからである。智慧は知識を正しく用いることであって判断、識別の力、学問などをその中に含む。

慈悲—慈悲は最も完全な意味であらゆる道徳的美点の総和である、従ってあらゆる徳をその中に含んでいる。それは人を促がして他人に対し善いことをさせる動機であり、人をして「キリストのために人生を送る」に至らしめる。

慈悲深い人は自分の家族に対して誠実であり親切である、また自分の居る国に於て善いことを活潑に行い、教会の中では忠実に働く。ジョセフ・スミスを促して「もし私の生命が私の朋友に対して無価値であったなら、私に対しても無価値である」と言わせたのは慈悲の真精神であった。救い主が人類を救うためにその生命を捨てたもうたのは完全な慈悲の精神からであった。

自制—真理、正義、智慧および慈悲などの徳はなるほど偉大な徳であるが、自制の徳ほど日常生活に於て実際的であり応用の利くものであるとは思えない。全く、以上述べた本当の男らしさの各要素は自制によって達せられないまでも、少くとも自制を通じて示される。自制は人間のもっている肉体的欲である食欲、情欲、激情および愛情などのすべてを支配抑制することを意味し、克己すなわち自己

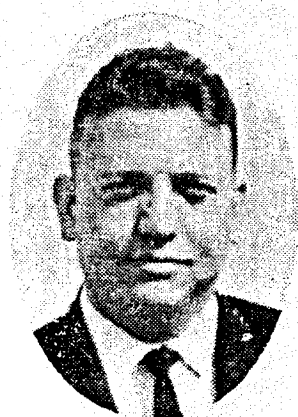
の食欲と激情とを自分に仕える僕べにすることができたらものはや自分はそれらの僕べではないという感覚のような強い性格の力を人に与えるものはこのほかにない。

この徳がまた多くの徳をその中に含んでいることは、それらの名前を挙げることによって了解されるであろう。すなわち節制、勇敢、不屈、快活、望を抱いていること、謹厳、貞節、独立、柔順、禁欲などがそれである。

本当の男らしさを現わす努力をするに当って、人はキリストを道として、真理としてまた生命として受け入れなくてはならない。キリストは真理、正義、智慧、慈悲、自制等を所有してこれを人に教えたもうただけでなく、またこれらの諸徳を実行したもうた。ここに男らしい力の秘訣があるのであって、それはすなわち自己が正しいと知っているところを敢然と実行することである。毎日、キリストと神の教えや誠命を破っている人は本当に神とキリストとを信じ、その神威と全能と権能とを信ずることはできない。

人が今日真に必要とするのは気高い行いによって伝えられる福音、あらゆる人の注意と尊敬とを得る福音である実践応用の福音である。キリストの生涯は真の男らしさの生涯であった。キリストの福音はそれに達することを指し示している。わが教会はそれを発展させる理想的手段である。しかし、本当の道徳的の性格は、人格だけでなく幸福と永遠の生命も与える諸徳を一人一人が毎日実践することによってのみ達成されるのである。

# 復活祭を迎える心の準備



一千九百六十年前四月の六日に偉大なエホバ、地球の創り主、旧約聖書の神は死なねばならぬ身を引き受けてベツレヘムでマリヤから生まれ、人々の中でナザレのイエスと呼ばれたもうたのであります。四月の六日はイエス・キリストがお生れになった本当の日附であります。三十三年後にこの偉大なお方は自ら進んでぎせいとなつて十字架にその命を捨て、全人類がイエス御自身のお定めになつたいろいろの要求に従うことを条件として、全人類の罪が赦されるように為したもうたのであります。全人類はその罪から救われるこの大きな機会を与えられたことに対してナザレのイエスのおかげを蒙つて居ります。それはイエス・キリストの贖罪なしには、また、イエス・キリストの教えに従わずにはその罪を赦される道がほかに一つもないからであります。たとえ全人類が今これを本当であると

## ポール・C・アンドラス

認めなくても、これは真実であります。本当であると認めないにもかかわらず、全ての人がこの偉大な事実を認めるにちがいない時が近づいて居ります。

イエスはその死んだ体が墓の中に在った三日間にバラダイスに居る死者の霊を訪れ、死者の霊もまた偉大な救いの計画を聞いてこれを受け入れる機会があるようにそこで宣教師の働きを創設なさいました。それから週の最初の日の朝早く、イエスは御自分の体がある墓へ戻つてきて再び骨肉の体をおとりになりました。イエスがこの時おとりになった体は神の能力によつてもはや死ぬことのない不死不滅の完全な体でありましたから、イエスは死のきずなを破り全く死を征服したもうたのであります。同時にイエスはこれまで地球上に住んだことのある、また将来地球上に住むはずであるあらゆる人間に不死不滅という偉大な賜をお与えになりました。イエスから授かった無償の賜として万人は必ず復活をし、骨肉を具えた完全な体で永遠に生きるのであります。万人はこの事実を認めても認めなく

でもこのすばらしい賜に対してイエスのおかげを蒙っております。しかし、イエスは自分たちを死から救いたもう救い主であると万人が認める時が近づいて居ります。

百三十年前に末日聖徒イエス・キリスト教会がニューヨーク州で組織され、千何百年という間に始めてイエス・キリストのまことの教えは、イエス・キリストの真の教会という形をとって再び地球上に現われたのであります。末日聖徒イエス・キリスト教会は全地の土にある神の唯一つの真の教会であって、将来必ず大きくなって全地を満すはずであります。世界中の人の大部分がこの偉大な事実を認めなくてもこれは真実であります。将来万人が末日聖徒イエス・キリスト教会を神の王国であると認め、全世界がこの組織を通して治められる時が来ようとして居ります。

末日聖徒イエス・キリスト教会の会員として私たちはイエス・キリストが偉大なエホバ、この世界の創り主およびこの世界の神であると認めます。私たちは、イエスを死から救う私たちの救い主であると認め、また私たちが罪から救われる機会を与えるお方、従って罪から救う私たちの救い主であると認めます。私たちは末日聖徒イエス・キリスト教会が全世界に於ける神の唯一つの真の教会であると認め、また私たちはこの組織が実際に神の王国であることおよびそれが将来必ず全地に於ける最も大きな組織になるはずであることを認めて居ります。私たちがもう一度四月を迎へもう一度復活祭を迎えるときに、以上のことをよく考えるのは良いことであります。しかしあなたが以上の事をよく考えているときにあなたは以上の偉大な事実について何をしているか自分に尋ねて下さい。あなたはそれに就て何をしていますか。あなたはそれに就て何をしようとしてい

ますか。

すべての末日聖徒は実行するはずの大きな責任を二つもっています。その一は教会の教える数々の教えに従うこと、その二は教会の教えるその教えをほかの人々に教えることであります。あなたはこれらのことをしていますか。あなたはいま純潔を保っていますか。あなたは教会の中であなたの上に立っている人々を支持していますか。あなたは当教会の規則や教義にそむいている団体や個人と関係をもっていないませんか。あなたは完全に「自分の一」を納めていますか。あなたは「智慧の言葉」を守っていますか。あなたは教会の聖餐会、神権会そのほかの会に出席していますか。あなたは「家族のお祈り」をしていますか。あなたは自分の子供に福音を教えていますか。あなたは断食献金を納め、また神の王国を建てるために自分のお金を寄附していますか。あなたは聖典を勉強していますか。あなたは短気を抑えていますか。あなたの家庭の中にまたあなたの心の中に愛がありますか。もしあなたが教会の教えを実践しているなら、あなたはモルモンとしての第一の大きな責任を果しているのです。

あなたは教会の教える数々の教えをほかの人々に教えていますか。あなたは機会がある毎に必らずほかの人々に教会の説明をしていますか。当教会の会員の非常に多くが果していないのがこの第二の大きな責任であります。この会員たちはほかの人々に福音を教えるはずであるが、実際にはやっていないのであります。当教会の会員の非常に多くがその親戚友人に福音を教えないのはどう手を着けたらよいか正確に知らないからであると私は信じます。そこで私は宣教師たちが今使っている「標準教課」と「フランネルボード」使

用の解説がこの問題を解決すると提案したい。私は各会員が宣教師に自分の家へ来て「フランネルボード」を使うレッスンをして見せてくれるように頼むことを提案します。各会員は自分の家族と自分の友だちがこれらの集りに出るように招くべきであります。このようにして各会員は学課と「フランネルボード」を使う解説とをよく知るようになり、同時に宣教師たちは福音を会員の親戚や友だちに教えていることになります。次に各会員はそれから先、機会のある毎に自分でレッスンができるために「フランネルボード」と図解と教授計画の一部自分のために手に入れるべきであります。図解と教授計画は伝道本部から買うことができます。「フランネルボード」は各会員が容易に家庭でつくることもできるしましたは伝道本部から買うこともできます。これによって、私は会員の一人一人が準備をして直ちにほかの人々に向って福音を教え始めるように頼むものであります。

大管長会はさきごろ北部極東伝道部の宣教師に対して本年中に少くとも千二百人の改宗者を教会に加入させるよう要求いたしました。宣教師たちは今熱心に働いていますから、会員の協力を得てこの目標は達成されるにちがいありません。もしも教会の会員一人一人がみな教えを實踐し福音を教えるという二つの責任を果たすなら、間もなく二千人の改宗者が毎年この伝道部内の教会へ入ってくるであります。

兄弟姉妹よ、私たちが今もう一度四月を迎えて四月にお祝いをする偉大な出来事の大きな意味を考へるときに、私たちは福音を實踐しました福音をほかの人々に教えることを各人が決心しようではありませんか。

よこしまにして不義なる代はしるしを求む

ジョセフ・フィールディング・スミス

ペテロや他の使徒達がイエスキリストの復活に対する証人であると自ら言明した時、当時いわゆる世を風びしていた学者、教法師、パリサイ人は口を揃えて「もしお前達の語る事が真実であるならばなぜイエスは自身を我々と世に示さなかったか、イエスが死より復活した事実を世人が知り得る様、もしお前達がイエスを人々に見せる事ができたならば、お前達の話を得心させるに何とすばらしい証明となるであろうか」と語った事は容易に察せられる。

事実十字架上にはりつけられ給うたイエスに浴せた祭司長や学者の嘲弄的な言は「人を救いて己を救う事能わず。彼はイスラエルの王なり、いま十字架より下りよかし、然らば我ら信ぜん。彼は神に依り頼めり、神かれを愛しなば今すくい給うべし」『我は神の子なり』と云えり」であつた。彼等はイエスが他の人々を救い給うた事をよく知っていた。イエスが死人を起し、病めるをいやし、不幸なる人々の恩人であつた事を彼等は目撃していたのであつた。が彼等はそれ丈では足りず更に大いなるしるしを求めたのであつた。

「邪曲にして不義なる代は徴を求む」と語り給うた主の御言葉は何と真実あふるゝものではないか。

## 「贖い」と「救い」(十二)

佐藤 龍 猪

「汝を贖いたもう者はイスラエルの聖者なり全世界の神と称えられたもうべし」  
(イザヤ書五十四〇五)

「またわれら父のその子を遣わして世の救い主となしたまいしを見てその証をなすなり」  
(ヨハネ第一書四〇十四)

## 一、キリストの「贖い」

神は無限の先智を以てアダムがこの地上に置かれる前から「救い主」の必要があることを知りたもうたので創世の以前から人類のために一人の「救い主」を備えたもうた。アダムとイヴが神の御前から「堕ちて」霊の死を受けた結果、不死の体は變つて「死なねばならぬ」体となり、その子孫も「死なねばならぬ」者となったから、この世の父母から生れる者は何人といえども死を免れない。神の前から追放されるということとは霊の死を受けるということであつて(それでも霊は消滅するのではない)(アル

マ書四十二〇九)、始祖が受けたこの刑罰の結果をすべての人類はその親から受けついで来た。しかしこの刑罰はアダムとイヴ個人の行為のためにこの世に来たのである。その時以來アダムとイヴの子孫である万人が赦されることなしにいつまでもこの刑罰を受けていなければならぬということとは明らかに不当である。イエス・キリストが受けると約束したもうた「身代りのぎせい」はアダムとイヴによって破れた律法の「なだめのぎせい」となり、これによって「正義」は満足し「恩恵」は充分に人類の「身も霊もうるおすことができる」(「信仰箇条の研究」九十九—一〇〇頁)。

「見よ、われは神なるに、人もし悔い改むるならばこの苦しみを受けざらんがために、すべての者に代りてこの苦しみをわが身に受けた。されど、人もし悔い改めずば誠にわれと同じ苦しみを受けざるべからず。その苦しみたるや、われ神、すなわちすべての中最も大いなる者なりといえど痛苦のために身をふるわせ、あらゆる毛の孔より血を湧かせ、身と霊と両つながら苦しめ、すなわちこの苦きさかずきより吞まずしてしりごみするも可ならんことを欲したり。然はあれども、父なる神は讃むべきかな、さればわれはこの苦しみをなめ、人の子らの為に準備を為し終りたり」(教義と聖約十九〇十六—十九)。

キリストが自ら進んで、また限らない人類愛によって為したもうた「身代りのぎせい」は、この世に於ける唯一の「罪なき人」としてまた「神の独り子」としてまた人類の「贖い主」となるために創世の前から天上に於て「予任された方」として万人の罪のために代つてぎせいとなり十字架の刑を受けてその「命をすて」(ヨハネ伝十〇十七・十八)たもうたことであつて、この最も偉大なぎせいのために、アダムとイヴから受けついだ罪と個人が其身で犯した罪の結果神から遠ざかっ



ていた万人には、イエス・キリストの媒だちによって神と交わることでできる和解（アトーンメント）の途が開かれ、永遠の父なる神の御前に戻って再び住むことのできる（贖われる）途が開かれたのである（「基督イエス」〔英文〕二十三頁）。

## 二、キリストの「贖い」は予任され予告されていた

キリストが全人類と神との間の仲保者（なだめ）になりたもうことはすでに久遠の過去に於て「イエスと御父との間に誓約が結ばれ、それに於てイエスは世の人の身代りとなつて罪の贖いをするに同意されたが故に、かくしてすでに述べた如くに、イエスは創世の前より殺さるべき子羊となりました」（「信仰簡条の研究」一〇六頁）、モ―セは「汝の主なる神汝の中汝の兄弟の中よりわれの如き一個の予言者を汝のために興したまわん、汝らこれに聴くことをすべし」（申命記十九〇十五）と言ひ、ヨブは「われ知るわれを贖う者は活く、後の日に彼等す地に立たん」（ヨブ記十九〇十五）と言ひ、ゼカリヤは「見よ、汝の王汝に来る、彼は優しくして救いをたまはり平和に

してろばに乗る」（ゼカリヤ書九〇九）と言ひ、イザヤは「見よ、おとめ身ごもりて男の子を生む、その名をイマムニエルと称すべし」（イザヤ書七〇十四）と言ひ、ミカは「ベテレヘムエフラタ汝はユダの郡中にて小さきものなり、然れどもイスラエルの君となる者汝の中よりわがために出ずべし。その出ること古えより永遠の日よりなり」（ミカ書五〇二）と言ひ、またバプテスマのヨハネは「されどわれより後に来る者はわれよりも能力あり、われはその靴をとるにも足らず」（マタイ伝三〇十一）と言つてイエス・キリストの来りたもうことを予告している。またキリスト自らも復活の直後エマオへ通ずる路上をその名を知らせず二人の弟子たちと歩いてお行きになつたとき「モ―セおよびすべての予言者をはじめ、己れにつきてすべての聖書に誌したるところを説き示し」たもうた（ルカ伝廿四〇廿七）。次にエルサレムで十一人の弟子たちに現われ「ここに聖書を悟らしめんとてかれらの心を開きて言いたもう。かく録されたり、キリストは苦難を受けて三日目に死人の中よりよみがえり且つその名によりて罪の赦しを得ざる悔改めはエルサ

レムより始まりてもろもろの国人に宣べ伝えるべし」（ルカ伝二十四〇四十五―四十七）と言いたもうた。また弟子のペテロは「きずなくしみなき子羊の如きキリストの貴き血によることを知ればなり。彼は世の前より預め知られたまいしが、この末の世に現われたまへり」（ペテロ前書一〇十九・廿）と言ひ、同じくパウロはローマ人への手紙の中で「神は忍耐をもて過ぎこしかたの罪を見のがしたまいしが、己が義を現わさんとてキリストを立て、その血によりて信仰によれるなどのそなえものとなしたまへり」と述べている（ロマ書三〇二十五）。「信仰簡条の研究」一〇八頁）。

## 三、「贖い」と「救い」

聖典の中には「贖い」と「救い」という言葉が同じ意味すなわち「神の御国に改われる」または「高い榮に昇る」という意味で使つてある場合が多い。ここにある「贖い」と「救い」と「高い榮に昇ること」（エペソ書二〇五）と「三つの言葉は同じ意味で使われていることがあるが、突然は人間が永遠の進歩を続け行くうち三つの段階を長わすものとしてとりぞれ異つた意味をもっている。

「贖い」とは買い戻すこと、束縛の境涯から元に戻すことであつて、人類の「贖い主」であるキリストはその貴い血を流して

「身代りのぎせい」となり「罪の価を払つて買い戻し」人類を現世に於ける束縛の境涯から始祖が律法を破つたことによつて追放された「元の境涯に戻し」（贖い）たもう。しかし、肉体の死（仮の死）から「贖われ」てよみがえるだけの者たちもある。

これらの者は「贖われ」ても「滅亡の子」として神の前から再び追放され、悪魔とその使者たちのために備えられた所に住まなければならぬ（教義と聖約七十六（四十四）、「救いの教義」第二卷十三頁）。

「救い」とは現在さし迫っている悪の力から守護すること、罪惡と將來受けるはずの刑罰から解き放つこと、惡と滅びの束縛から解き放つことである。人類の大部分は「救われる」。人類を「贖う」とは人類を復活させることである。「救い」とは「贖われた」後すなわち「復活した」後に「死なざるうじと消えざる火とありて」苦しむ所（教義と聖約七十六（四十四））に行かず、に榮の國に行くことである。主が「去れ、呪われし者たちよ」と宣言したもう時に

（教義と聖約二十九（四十二））サタンの王國へ追放されず「第二の死」（再び靈の死）を受けないことである。

「高い榮に昇ること」（昇榮）とは神の御前に住んで神の如く在ることである（「救いの教義」第二卷十三頁）。

#### 四、条件付の「贖い」と無条件の「贖い」

始祖の罪の影響から万人が「贖われる」とは、個人の犯した罪から「贖われる」とことと無関係である。始祖アダムが犯した罪はアダムの子孫の犯した罪と全く異なる。アダムの犯した罪はアダムが善惡の區別を知らず不死の体をもっていた時に犯した罪であり、第二の個人的罪は「死なぬばならぬ身を持つて」善惡の區別がつく時に犯した罪である。アダムの子孫はアダムが罪を犯した時に何の力も持っていなかった、従つてアダムの罪から贖われるに當つて何の力も用いる必要がない、アダムの子孫である万人は信仰、悔改め、バプテスマその他の何ら身心の行いなしにアダムの罪から贖われる。これすなわちキリストのぎせいによつて「万人が無条件に贖われる」ことである。

条件付の「贖い」は本質的に万人に提供されるが、万人は必ずしもこれを受け入れない。これは万人が必ずしも受け入れなくとも万人に提供される贈りものであつて、その利益は信仰、悔改め、バプテスマ、按手、福音の誠命にことごとく従うことによつて得られる。すなわち無条件の「贖い」は人類が好むと好まざるとにかかわらず与えられ、人類はこれを拒みたくとも拒むことができない。人類は必らず復活をするからである。復活をするためには信仰、悔改め、バプテスマその他如何なる善行をも要しない。「救われる」か「救われない」かは復活の後に至つて定められる。しかし、条件付の「贖い」は受けるも受けないも心次第であつて、人類は如何にして「始祖の墮落」から「贖われる」ことを阻止することはできないが、自己の犯した罪の罰から「贖われる」ことを拒むことも阻止することもできる。そして自己の犯した個人的罪から「贖われる」には信仰と行為（わざ）による（「救いの教義」第二卷九・十頁「信仰箇条の研究」一一四—一一八頁）。

五、キリストはあらゆる物を「贖い」たもう無条件の「贖い」とは人類を「この死ぬべ

## 什分の一

……主が什分の一法を設け給うたの

であり、この律法はアブラハムの時代に行われ、又エノクとアダム及びその子供達も什分の一と捧物とを忘れなかった。諸君は自ら主がお求めになられる事を読み且つ知る事が出来る。末日聖徒なりと主張する人々に余は以下の事を申し上げたい。……もし我々が什分の一と捧物とを怠るならば主は我々にこらしめの手をさしのべられるであろうと。我々はこれを重要視する事も軽視する事もできる。若し我々が什分の一と捧物の払いを怠るならば、他の事柄をもおろそかにする様になり、やがて福音の精神が全く我々を離れ去る程迄になり、我々は暗闇にあって何処へ行くべきか分からなくなってしまう。

ブリガム・ヤング

## 前世に於ける

### キリストの神性

イエス・キリストが創造主たる神であり、またアダム、エノクよりノアに到る大洪水前のすべての族長、予言者に御自身をおあらわしになった神であり、そして、アブラハム、イサク、ヤコブの神、イスラエルの民の神、ヘブライ国家分裂後に於けるエフライムとユダの神、モーセよりマラキに到る各予言者に示された神、旧約聖書の神、また、ニーファイ人の神にましましたことを明確に示す所の聖典的權威を我々は主張するものである。

実にイエス・キリストはエホバにして、永遠の神にましますことを確信する次第である。

(ジェームス・クルマツジ著

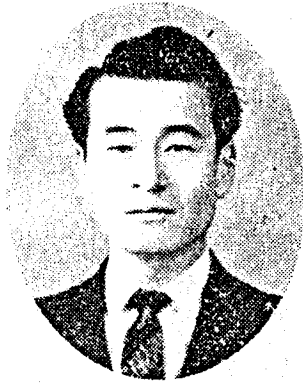
「キリスト・イエス」より)

き身をもっている状態」から「不死不滅の身をもつ状態へ再び戻すこと」すなわち復活させることである。「この贖い」すなわち復活は人類だけでなく獣、空の鳥、海の魚そのほかあらゆる物に起る(教義と聖約二十九〇二十三―二十五)。万物はこの世に来る以前に靈界に在った(「高価なる真珠」アブラハムの書三〇七―九)。故に万物は「贖われる」、すなわち復活するのである。キリストは人類を「贖う」のみならず、地球上のあらゆる生物も地球そのものも「贖い」たもう。われわれは死がこの世に在ることに対して何の責任もないから、「この無条件の贖い」に対してはただこれを受けるのほかはない。それであるからパウロは「すべての人アダムに由りて死ぬるごとく、すべての人、キリストに由りて生くべし」(コリント前書十四〇二十二)と言っている(「救いの教義」第二卷十一頁)



# 極東に於けるモルモン

## 私の改宗



中 東 幹 夫

(東中央地方部 Y・M・M・I・A 指導者)

千九百四十七年十月に当時品川区青物横丁に所在した日米文化学院に入學した。その頃私は神の存在を否定して居りましたが心の平和と云うか何物かを求め彷徨って居たのです。二時間目非常にハンサムな米國教師が壇に立ったが、日本語を流暢に語ったの何物かの力から出る人格に心を引けている矢先

「私は末日聖徒イエスキリスト教会の宣教師として神の福音を伝えに日本へ参りました。

私の名はポール・C・アンドラスです。この授業の後に福音のクラスをこの二階で行ないますからどうぞ皆さんいらっしゃって下さい。」

彌次馬根性で集った人数五六十人、重ねるにつれて減り、或時は五人、三人の出席人数に成る。省みて不思議に思うのは、どんな寒い時も私は少人数の中に出席して居たことである。神の存在を否定して居た私がレッスンを終え、知らぬまに二階の室で少人数の中に含まれて座って居た。それは確かに、聖霊が、イエスの愛が、神が、私の霊体を導びいて居た。他の何者でもない事を今私は皆様に証しする事が出来る――

それから七八カ月過ぎてからカトリック、メソジスト、ルーテル教会に金曜、土曜に出席して歩きましたが、聞き歩くだけで勉強はしませんでした。そしてクリスマスの頃から少しモルモン教会の教えに興味を持ち智慧の

言葉を守り始めましたし、宣教師の家庭訪問を受ける様に成り、千九百四十九年三月に私がバプテスマを受ける動機を神から与えられました。それは当時の宣教師ポール・S・カーター長老が日本語をどうやら苦勞して語って居た時でした。カーター長老が福音を教えて居るとき一人の生徒から「あんたの日本語はさっぱり分らん、福音など宣べる資格がないよ、よしなさい」と強い言葉を受けました。なんと非道な事を云うのであるうか。「英語で話したら皆が分らないから一生懸命日本語で話して居るのに、なんと云う人だ」と反感を持ちました。カーター長老は皆に丁寧に詫びて「此の次から皆様に良く分る様に計画しますから、どうぞ出席して下さい」そうして次回から古い求道者にテーマを与えて三十分間、話をする様に計画したのです。最初に頼まれた者はなんと私でした。長老の人格より溢れる態度とその時の反感もあり「はい」と云ったものゝ私は後で困りました。テーマは「聖霊の賜物」教えられた事はあつても勉強した事がありません。早速信証講義(信仰箇条の研究)により準備しましたが分らないところだらけです。三日後の其日聖霊について話しました。何か強い力に満され、すらすら

と自分自身から出る言葉を不思議に思いながら、未だ知らなかった事も知恵を受けて語ったと云いますか、私の口は機械でありそれを誰かが使つて居る様に思われた。聖霊の導きとはこれだ。神は生きて居るのです。そんな風に証しを持ちました。聖書の中にも（使徒行伝十章）パプテスマを受けない人が聖霊の導きを与えられ満されたと有りますが、神は不思議な方法をもつて人を改宗なさりますね私の改宗の動機は、神を信じたのは、何ですか。ずばり「それは聖霊の賜物を与えられたことです」と証します。それより聖書、モルモン経を勉強し始めました。次の週にカーター長老より「パプテスマを受けましょう、此の土曜日に「はい私もそう云おうと今日思つて居たところです」と約束をした。三月二十六日私はその感動を書き「梅花開き 其生美を知れり 水と露にて儀式を受く、聖霊体中に満ちて感泣 神に誓はん 永遠に生きんこと」悔改と題して詩吟を口吟み、苦しみも喜びも我身をはげまし悔改と謹しみを常に覚える為に今尚口吟んでおります。

もし私にあなたは長い信仰生活の内に苦しみが多くあったでしょうねと質問する人があれば、私はこう答えます。「いゝ喜び、楽

しみ、幸せの為の感泣の方が多いですよ。」諺にある様に「苦あれば楽あり」又モルモン経の中にも「それ人に苦しみを与えるのは幸福を与えるためなり」と有る様に苦しみ責任を負い行ふとき神の導を受けたあたり、多くの不安と喜びを覚え感動するのです。なぜなればモーサヤ書にある様に「神は「汝らもし神の命令を守らば地に榮ゆべし」と言う誓約をお前たちに立てたもうた。そして神は一度口に出したことは変えたまわないから、お前たちが神の命令を守るならば神は必ずお前たちを祝福して榮えさせたもう」もしお前たちが神の命令通りに行うならば、神はその従順さをほめて直ぐに祝福を与えてこれを報いたもう」本當にそうです。私は責任を与えられるといつも自分の智識のないこと信仰の弱さに苦しみながら研究、努力し、祈りにてそれを最高のものにしようと努める。しかしその苦しも悲しみも、次には喜びと平安、幸福を感じるそれは神より智識を与えられそのすべき方法を与えられ、みたまに満されるからです。

私は此の末日の世に、現在偉大なる召、責任を神より与えられ、その機会を感謝するものであります。私より神の導を、力を取除いたら曠と等しい智のみ残ります。それゆえに

我身はみたまに満され、なんと云つてよいかわ知らぬ感謝と感動の中にあります。私は現在も神の恵み、導き、智恵、その他物質的に、精神的なものを与えられて居ます。私の云える事は「罪深い我れを許したまえ」それだけです。千九百五十八年九月二十一日、私は証し「秋風吹叫び心に泌みる此召に力無し、只断腸、神の愛思えば、身謙勇変り、誓我死と墓地は福音なり」と。これは証しと題する詩吟です。聖霊の賜物は与えられ、イエスはキリストであり、神は生きたまい、その心我身に必要なものなければ必ず与えられ、ジョセフ・スミスは確に神とその御子イエス・キリストを見ました。私は見なくても見たと同じ証しが出来ます。それは悲しみの祈りの時、喜びと苦しみの祈りの時、楽しみを、智識の必要の時、智恵を、物質の必要な時、その物を与えて下さったことにより、神様とイエスキリスト様がお現れになったことを証し出来ます。まさしく十一年間の生活は苦よりも喜びの導き、多う御座いました。私のさゝやかな信仰生活の語を書く機会を感謝し、神に御榮えあらんことと、永遠に私を神の召に僕たらしめたまわん事を祈り、イエスキリストの御名により申し上げます。

アーメン

# キリストの復活

イエスは殺されて再び挙げらるべし。

マタイ十六・二十一～二十三

復活の宣言。「彼はよみがえり給えり」。

マタイ二十八・一～八

イエス、女たちに現われる。「安かれ」。

マタイ二十八・九～十

救主、山上で弟子たちに現われる。

マタイ二十八・十六・二十

イエス、御自身の三日目のよみがえりを予言す。

マルコ九・三十一～三十二

エマオの道にてイエス二人の弟子に現われ給う。

ルカ二十四・十三～三十五

ペテロに現わる。(コリント前五・五と比較)

ルカ二十四・三十四

イエス復活体をもって弟子たちに現われ給う

ルカ二十四・三十六～四十三

ペテロとヨハネは空虚の墓を見る。

ヨハネ二十・一～十

マグダラのマリヤは救い主を見る。「我に触るな」。

ヨハネ二十・十一～十八

イエスは現われトマスに信じさせる。

ヨハネ二十・二十四～三十一

海岸で弟子たちに現われるイエス。

ヨハネ二十一・一～十四  
イエス復活体を以て天に昇り給う。(ルカ二

十四・五十一と比較)  
使一・九～十一

ステパノ、天父と御子を見る。(物語)

使七・五十五～五十六

イエス復活体にて昇天す。(ルカ二十四・五

十一と比較) 使十・三十九～四十二

死よりよみがえりの第一番目。(物語)

使二十六・二十二～二十三

一度に五百人が復活した主を見る。

コリント前五・三～八

眠りたる者の初穂、キリスト。

コリント前五・十九～二十三

「栄光ある体」を所有する救い主。

ピリピ三・二十～二十一

最初によみがえつて優れた地位を得る。

コロサイ一・十八

復活の主曰く、「我は永遠に生く」。

黙一・十八

復活した主はニーフアイ人に現われる。

三ニーフアイ十一・一～十七

最後の証し「復活した主は活き給う」。

教七十六・二十二～二十三

ジョセフ・スミスによる復活した主の描写。

教百十・一～四

救主現われ給う時、彼の間人なるを知らん。

教百三十・一

天父と御子は人の形を以て現われ給う。

(物語) 高・スミス二・十六～十七

十字架と復活の物語。(マルコ十四～十六、

ルカ二十二～二十四、ヨハネ十八～二十一

も参照) マタイ二十六～二十八章

ユダヤ人が自分を殺すが故に、キリストは彼

らの所へ行つた。二ニーフアイ十・三～五

キリストが十字架に架けられた時、アメリカ

に起つた出来事。

三ニーフアイ八・五～二十三

註 上記のキリスト復活の主な出来事の順序

は大体次の如くなる。

(一) マタイ二十八・一～八 (二) ヨハネ二十・一

(三) ヨハネ二十・十一～十八 (四) ルカ二

(五) ルカ二十四・三十四 (六) ヨハネ二十一・一

(七) ヨハネ二十一・二～十三 (八) ヨハネ二

(九) ヨハネ二十一・十六～二十 (十) 使一

(十一) 使一・九～十一 (十二) 三ニーフアイ十一・一

(十三) 三ニーフアイ十一・二～十七 (十四) 三ニーフ

アイ十一・十八～二十 (十五) 三ニーフアイ十一・二十一

(十六) 三ニーフアイ十一・二十二～二十三 (十七) 三ニーフ

アイ十一・二十四～二十五 (十八) 三ニーフアイ十一・二十六

(十九) 三ニーフアイ十一・二十七～二十八 (二十) 三ニーフ

アイ十一・二十九～三十 (二十一) 三ニーフアイ十一・三十一

(二十二) 三ニーフアイ十一・三十二～三十三 (二十三) 三ニーフ

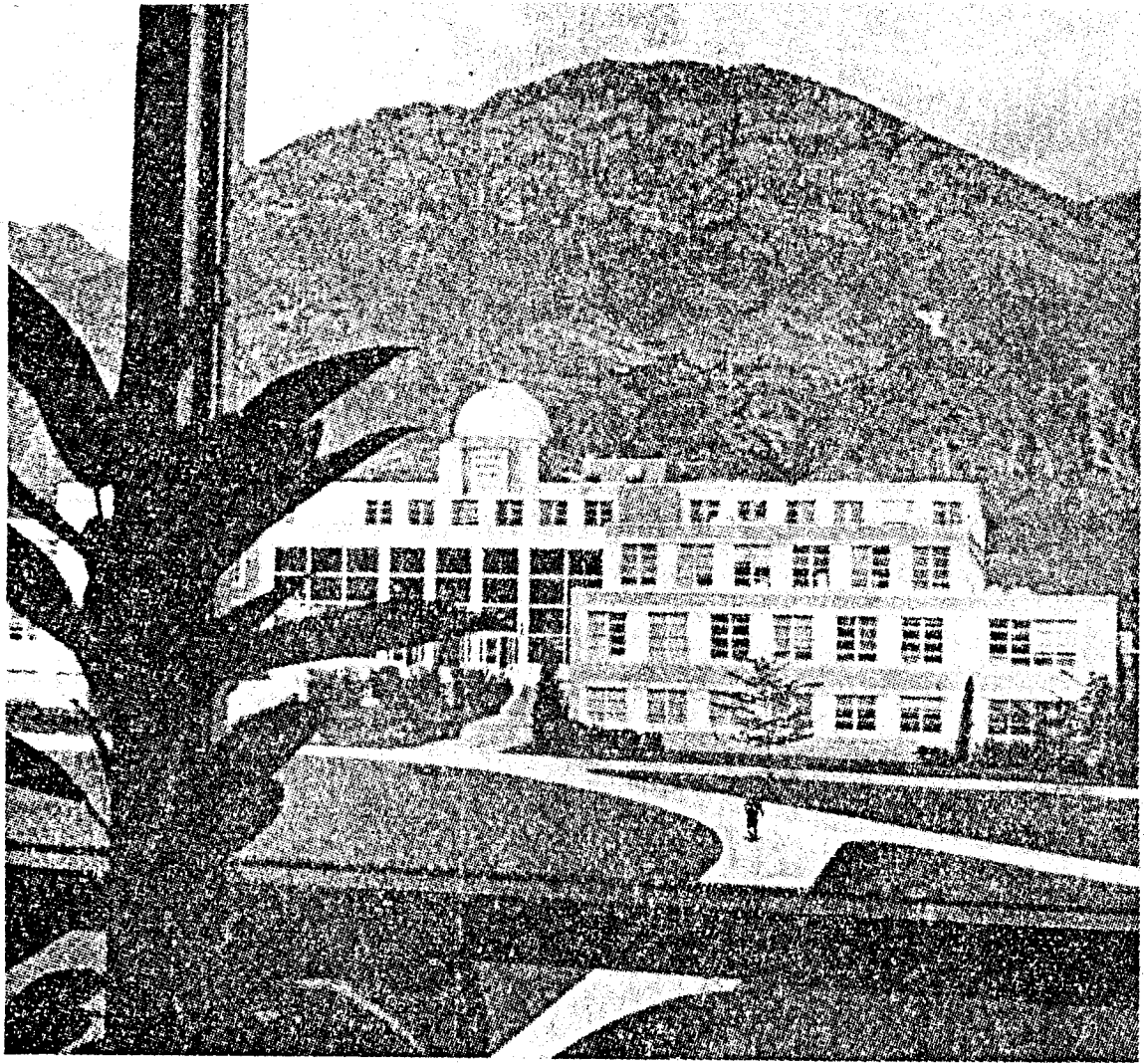
アイ十一・三十四～三十五 (二十四) 三ニーフアイ十一・三十六

# THE CHURCH EDUCATION PROGRAM

◀ 我が教会の教育計画 ▶







カール・アイリング物理センター

現在わが教会には十四才から二十五才までの若人が約二十五万人居るが、これらの若人は将来わが教会の指導者となる人々である。今から十六年足らず後の千九百七十五年までにこの数は五十万人以上にふえるはずであり、この高等学校から大学までの年齢にわたる若人の団体は二千年までに合計百万人以上になる見込みである。

高等学校から大学に至るまでの年は危機をはらんでいる年である。若人たちは二十五才になるまでに、また往々それよりずっと前に、大多数の者の生活は可なり先走って居り、人間としての生活の型が早くも出き上っている。若人の心は熱心で染まり易く何事もすぐに覚える。

現在公立の高等学校や大学はいろいろの点で非常にすぐれていて、これらの学校の先生は総じて有能であり立派な教育を受けた人々である。しかし、先生たちも人間である。これらの先生は人の造った説を教え、往々学説と事実とはつきり区別しない。その上、わが国の教育組織の或る部分には、宗教的性格を帯びたものは何によらず無視するかひやかしてみせるかしなければならないという気分ができ上っている。わが偉大なキリスト教国



民の中に於て神とキリストとはほとんど諸学校から排除されてしまっている。いろいろの大学および高等学校の中でさえ、或る先生たちはいわゆる科学的研究の名の下に、これまでに家庭や教会が築き上げるために努力してきた信仰を取りこわすことを喜んでいるように見える。従つて、末日聖徒イエス・キリスト教会がその会員である若人に平日教育を授け



アーネスト・ウイルキンソン

ることに深い関心を持っていることは驚くに当らない。

家庭、神権者定員会および教会の補助組織で施す宗教的訓練を支え、追加し、補充するため、平日に受ける非宗教的訓練と宗教的の教えとを釣合わせるために、わが教会は昔から平日教育の大制度を確立して常にこれを拡張しているが、今や絶えず増加して行くわ

が教会の若人たちがこれを利用してゐる。千九百五十三年に、太平洋諸島の学校を除き、わが教会の教育計画は「教会学校統一組織」と呼ばれるただ一つの組織の下に置かれた。現在、ブリガム・ヤング大学のアーネスト・L・ウイルキンソン学長がその管理者である。

わが教会がその若人たちに施す高等学校程度の平日教育は、早朝授業と放課時の「神学課」授業とから成っている。大学校へ通うわが教会の若人のためには、教会の学校へ通いたいと希望しまたは出席することのできる者たちのために単科大学と総合大学との二つの施設がある。また、ほかの単科大学または総合大学へ出る者たちのためには「神学研究科」と「デゼルト・クラブ」の二つの制度がある。ユタ州プロヴオにあるブリガム・ヤング大学はわが教会の教育組織の神経中枢である。千九百五十八年秋の学期には九千九百六人の在籍者があつたが、将来は一万五千人の学生を収容する準備ができるはずであつて、BYU（ブリガム・ヤング大学）が本来上級の学校として、すなわちその学生が学位すなわちバチエラー、マスターおよびドクターの学位をとるために勉強して、これらの学位を獲

得することのできる大学としての役目を果たす計画である。

BYUは千八百七十五年ブリガム・ヤング大管長の創立にかかわり、その目的はわが教会の青年たちが健全なふん、い、気の中で「高等」な教育を受けることであつた。カール・G・メーサーがBYUをたてるためにプロヴオへ遣わされた際に、ブリガム・ヤング大管長は彼に指令して「神のみたまがなければABCやかけ算九々さえも教えてはならぬ」と言つた。ブリガム・ヤング大管長が与えたこの命令は数十年の才月に亘りブリガム・ヤング大学そのほかわが教会が経営する諸学校がその上に立つて運営してきた根本の考え方である。

最近の調査は末日聖徒である青年の約半数が高等学校へ通つてゐることを示しているが、これはわが教会の誇りである。多くの見方からして、これらの青年がごとくプロヴオにあるこの偉大な学校へ通うことができぬならすばらしいかのように思える。しかし、このようなことはありそうもないことであり、また全く望ましいことでもない。

わが教会の青年のうち多くの者は家庭を離れて大学へ通うことができない。実際に大学

生活を始める者の約五十パーセントは二年たつと結婚をするためや興味や才能のないためやそれに関連した理由のために脱落してしまふ。その他の者は二年またはそれ以下の間に美術または工芸の中で自分たちの欲する特殊の訓練を受けることができる。また短期大学から移ってきた学生は、すでに四年制大学の前二年をすませた者と同じように、学位をとるための学習をつづける準備がよくできている。以上その他のことをよくよく考えてわが教会は短期大学制もとるようになった。必要が起るときには、また事情が許すときには末日聖徒が多く住んでいる地域に短期大学を設立する計画である。これらの学校は二年を基礎にしてわが教会のいろいろな地域のためになり、プロヴオにある親学校に入つて学位を得たいと思う学生を供給する。リックス短期大学は今アイダホ地方のために役立っている。元それはレックスバーグにあったが、今はもっと人口の多い中心地であるアイダホ・フォールズに移っている。ソルトレーク市にも短期大学を設立するためにいろいろの計画が立てられすでに敷地が購入されている。まだこの上にいくつかの短期大学がすぐにでき

大学の教科課程はその学校が役に立っている地域の必要に応じて少くとも一部分が採用されるにちがいない。たとえば、アイダホに住んでいる教会員の大部分は農業に従事している。従つて、リックス短期大学はソルトレークの短期大学よりも農業の課目に多く力を入れる見込みである。すべての短期大学に於ては、わが教会の標準が維持され、種々の教会活動が後援を受け、宗教を教える学級が要求されるにちがいない。

一方に於て、ブリガム・ヤング大学は世界に於ける大きな総合大学の一つになることにきまつていようである。すでにBYU（ブリガム・ヤング大学）はその在籍学生数に於て中部山間地方最大の大学になつて居り、アメリカ合衆国でも教会関係の大学中一番大きな大学である。学生数は急速に増加して、一九五〇—一九五一年と一九五八—一九五九年の在籍数は累計五千四百二十九人から一万一千四百二十七人へと二倍以上に飛躍している。昨年は合衆国のあらゆる州と四十八の外国から学生が来た。その中約六割が男子であつてそのほは三割が妻帯者である。女子学生の中では約八パーセントがすでに結婚している者である。

学生数がこのように急に増加する需要に応ずるために、体育施設、教授団、学科課程その他教会の大学が必要とするあらゆる関係施設が拡張されている。一九五九—一九六〇年度の大学行事一覧には四百九十五名の教授の名が載っている。これらの男女教授は、三十六の州にある九十三の大学と、七つの外国に於ける十三の大学に於て教育を受けた人々である。そして、現在の教授団の中でその四十五パーセントがドクターの学位を持つて居り、その上に四十パーセントがマスターの学位を持つて居る。またこの大学の一般教養の標準をできるだけ高く保つことができるように、すべての教授団が高等の研究をするようにあらゆる奨励が与えられている。ブリガム・ヤング大学は完全な大学教科課程を有し、その信用は他の主ないろいろな大学の信用と同等に認められ受入れられている。またわが国最高の教育関係の諸協会とも関係があり、重要な国際的機関に十分な信頼を受けている。

BYU（ブリガム・ヤング大学）の中の十一学部、すなわち化学、地質、歴史、人類の発展と家族関係、音楽、社会、聖書および近代の聖典、歴史および宗教哲学、物理、一般心理、教育管理の各学部はドクターの学位を



提供する信任を得ている。各学部はその教授団と施設を注意深く調査した末に認可を与えられる。BYUは、その正規の一般教養計画によって、大学のもっている六十学部のすべてに於てバチエラーの学位をゆるし、また全学部に於てマスターの学位をゆるしている。

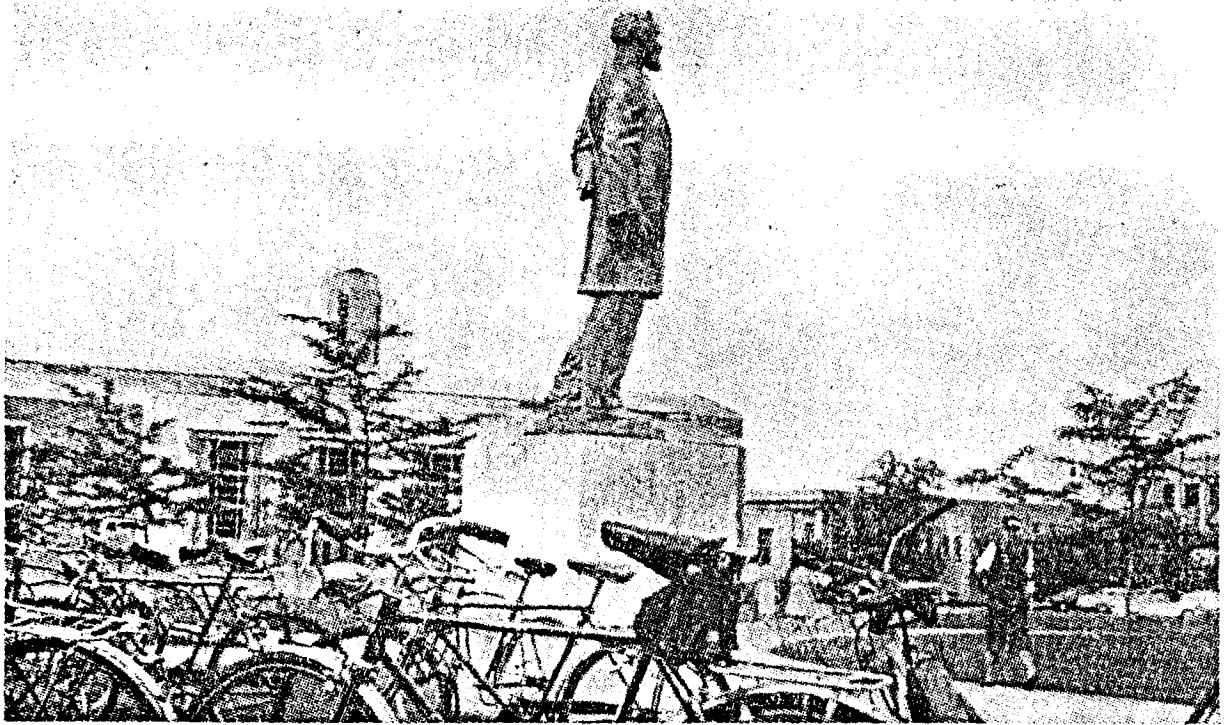
教室、実験室、住宅の設備そのほか必要な学校内の改善をするためにブリガム・ヤング大学は千九百五十年以来印象的な建築計画を推進してきた。現在BYU（ブリガム・ヤング大学）の構内は約五百エーカー（二千ヘクタール）に及び、そううち二百エーカーが建物運動場、その他に集中的に使用されている。

過去十年間に新しい建物や諸設備に使われた金額は二千万ドルに上る。これらの建物の中には体育場、学生購読部、教室、工学部、女子会館、学生病院、製造工場科学研究所、家事センター、男子会館、暖房設備、および競技場の改良等が含まれている。更に二つの会館が今建築中である。

そして来る数年間には新しい図書室、管理及一般事務所用建物、商業単科大学の建物、工業教育用建物、および体育場の拡張等に更に二千万ドルが使われるはずである。その他美術センター、体育およびレクリエーション

・センター、乳製品ビルディング、結婚している学生用永久住宅団地および学生会議所等を建てる計画がある。また以上の計画と共に歩道、車道、駐車地帯をつくること、暖房照明造園および大戦後に入ってきた多数の学生を収容するため構内に急いで建てた多数の仮建築を取換える計画も立てられていることはもちろんである。

しかしながら、教会の大学は身体を造る工場と印象的な教授団以上のものでなくてはならない。教会の大学はその学生を学者としてだけでなく宗教的にも発達させ、幸福なそして人類と教会とに奉仕する均整のとれた生活を営むよう助けを与えなくてはならない。BYU（ブリガム・ヤング大学）という共同体のあらゆる面は以上の目標に到着する仕掛けになっている。例えば、教授の一人一人はきわめて注意して選ばれるが、ほとんどすべてがワード部やステーク部の指導者であって、また普通の地位に在る人々である。これらの人々は深い霊的洞察力を有ち、これによって学生たちの必要とするところを悟り、学究的な問題を教えている間に学生たちが教会の良い会員になりたいという心を起させることができる。教授がこの大学に就任する時、たと



カール・G・メーサー銅像

の前にまず教会幹部の一人と面接することに目をつけると興味がわく。ブリガム・ヤング大学に学び、また教会経営でないほかの大学でも学んだことのある学生たちは、ブリガム・ヤング大学には独特の精神があるとほとんど口をそろえて言う。大学構内で営まれるあらゆる生活の面では表彰制度が行われている。完全に学生だけから成る学生表彰評議員会がこの制度を管理する。集団祈禱がいつも会館や寄宿舎の中で行われ、セルフサービスの簡易食堂では一人一人が食べ物に祝福の祈りをする。

この大学ではクリスチャンの有つあらゆる美徳が育てられ、品行方正誠実正直などの高い標準が維持されている。禁酒禁煙が要求され服装や行状に関する教会

の標準そのほかこれに関するすべての徳が奨励されている。各学生は四半期毎に宗教科の授業を受けるように要求される。各週に開かれる宗教的の集りに出る学生は教会大幹部の説教を規則的に聴くことができる。

当教会の中にある最も珍らしいステーク部の一つはブリガム・ヤング大学の学生から成っているステーク部である。そのステーク部は三十四のワード部から成り、教会の行うプログラムに参加する大きな機会を得ることができる。学生たちが訓練と指導に就て最大の助力とはげましを受けることができるよう、家庭を離れて生活している独身の学生はワード部の一つに属する会員となる。BYU（ブリガム・ヤング大学）ステーク部長はBYU教授団の一人、アントン・K・ロムニー博士である。またこのステーク部のステーク部長会、高等評議員会、監督会等の中にある職は教授団に属する人々ならびに近くにあるステーク部の会員等が占めている。ワード部とステーク部が行うすべての活動は、大学の活動と密接に相関係している。いろいろの集会在構内にある集会場や教室に於て催おされ、各ワード部ができるだけ完全にプログラムを司会する。このステーク部の集会出席率、「タ

イジング」納入率、およびあらゆる教会活動の記録は目ざましい高い率を示している。このことは千九百五十八年にブリガム・ヤング・ステーク部に属する会員のうち五百一名が結婚し、その中の四百六十二名（九十二パーセント）が神殿で結婚をしたという事実によつてわかることである。BYUの共同体はその九十七パーセントが末日聖徒であるが、それでもステーク部の伝道が行われていて、千九百五十六年以来百三十六名の改宗者がバプテスマを受けている。

ブリガム・ヤング大学の卒業生は世界中の人が驚ろくような記録をうち立てている、その中ほんの二三を次に挙げると、千九百五十七年―千九百五十八年度にBYUから出た医科志望の学生はその七十パーセントが医学校に入っているが、これは国の平均五十五パーセントに比較して優秀である。また歯科医学校へは入学を志望した者の七十九パーセントが入っているが、これも国の平均五十五パーセントに比較して優秀である。千八百五十八年―千八百五十九年度の医科志望者の七十八パーセントが医学校に入り、歯科医学校志望の九十七パーセントが入学を許可されているが国の平均は五十パーセントを少し越えただけであつた。

最近の調査によれば、ユタ州に於ける学区長のうちブリガム・ヤング大学の卒業生はその五十パーセント以上を占めていることがわかつている。毎年ミシガン州の市民調査審議会は、政府および地方の学校に於ける卒業論文に対して非常に望ましいインターンの地位を五名の卒業生に授与している。BYUのある卒業生は一列五年間この特別研究生の地位を授与されて居り、或る年は五人中三人までがBYUの卒業生であつた。

これと同じような業績の記録は、ほとんどすべての学部からの卒業生について例をあげることができよう。末日聖徒イエス・キリスト教会はこれまで教育を奨励してきている。いろいろの報告によると、千人毎に六十人の末日聖徒が高等学校に出ているが、これは全米平均数の三倍以上であり、千人毎に約九人が単科大学や総合大学に出ているが、これは全米平均数のほとんど二倍であることを示している。また教会の中には、アメリカの何処に於けるよりも多数の単科大学卒業生とマスターやドクターの学位をもっている者とが居る。百分率から言つて、ユタ州は偉大な業績を挙げた人と科学者の数に於て全米第一位を占めている。これらのレコードをつくるに當つて教会の会員たちはただ「汝ら最も善き書より智慧ある言葉を探し求めよ」という主の教訓を信じてそれを実際に示しているだけである。

高等学校の「神学課」、大学の「神学研究科」、デセレト・クラブおよび各大学等を通じて昼間に宗教々育を受ける機会を与えることにより、教会は若い人たちが「まず神の国と神の義とを求めよ」という、主が与えたもうた今一つの教訓に従うことを得させ、学究として進歩をしているうちに霊の成長も遂げているのである。

自分の息子や娘たちがわが教会の与える好機会を利用するのを助ける両親はまことに賢明である。



# 証詞とは何か

ジョセフ・フィールディング・スミス

辞書を引くと証詞のところに「裁判官の前で述べる陳述もしくは事実の確認、証言立証」と書いてある。

証人が裁判官の前で証言をする、そうするとその証言の確実性に基いて判決が下される。証言は聴覚、視覚、触覚等の感覚に基いて得られることがある。福音に関して、証詞とは祈りと勉強と信仰によって熱心に啓示を求める人に与えられる啓示である。証詞とは圧倒的な絶対的な力で人の心を与える感銘もしくはそうした力で人の心に語りたもう聖霊の御声である。証詞は何をもとにして得られる感銘よりもはるかに強く心を貫く何ものかであって、これを充分に書き表わすことはできない。

モロナイはモルモン経にのっているニーファイ国民の歴史を書いた筆をおくに当つ

て、幸いにもモルモン経を読むことのできる各人に対し、次のような確信に充ちた言葉で教えを与えている。

「またこの記録を受ける時、それが真実なものかどうかをキリストの御名によって永遠の父なる神に問え。もし誠心誠意でその上キリストを信じながら問うならば、神は聖霊の力によってこの記録が確なものであることをあなたたちに示したもうにちがいない。そして聖霊の力によって一切の事の真実であるかどうかがあなたたちに解る」(モロナイ書十〇四―五)

しかしながら、心に留めておかななくてはならぬことは、この知識を求めている人に何べんも同じ顯示を受ける特権は与えられないということである。この人は不断に聖霊の導きを受ける資格はもっていない。主

は真理を一度啓示したもうにちがいない、次にこの証詞が与えられたときその人は啓示された真理を信じ、バプテスマと聖霊の賜を与える按手礼とによって福音を喜んで受け入れるべきである。主は言いたもうた「真理を熱心に求める者にはすべて最初の顯示が与えられるが、この世の人々はこの「みたま」を受けることができない」(ヨハネ伝十四、〇十七。)

コルネリオはモロナイが語った教えと全く一致した顯示を受けた、しかし彼がもし御使の言葉にそむいたなら、それ以上コルネリオには何の光明もしくは指図も与えられなかったであろう。人々が主の誠命に従しなければ、主の「みたま」は決して人々と論じ合ったり人々の中に留まりたまわない。

謙遜にして誠実な生活をし、これまで与えられているもろの誠命に厳密に従うことこそ、わが教会員の一人一人が守るべき義務である。もしもこれが守られるならば人は真理を知るにちがいない。単に福音の要求に各自の生活を一致させていないと

証 詞 と 信 仰

いうだけのことで、まだ証詞を与えられていない教会員が明らかに多数ある。主のみたまは汚れた宮に住みたもうはずがない、こういうわけで約束された知識を受けていないのである。それからまた、勉強と信仰によって覚えるための時間をとらない教会員が多くある、すべてこれらの人々は忠実なる者に約束された靈感を与えられることがない。このような実情である時、過ちを犯している人々は人間の造った偽の教義や学説に迷わされてそちらへ赴く危険がある。主は真理を知り、誤りを看破する鍵をお与えになっている。すなわち

「わが教はわが教にあらず、われを遣わしたまいし者の教なり。人もし御意を行わんと欲せば、この教の神よりか、わが己れより語るかを知らん」と、また「汝らもし常にわが言に居らば真にわが弟子なり。また真理を知らん、而して真理は汝らに自由を得さすべし」と（ヨハネ伝七〇十六・十七、八〇三十一・三十二）。

聖霊の顯示はきわめて力強いものである、正しい心に与えた印象は消すことのできないほど深刻なものであるから、一度聖

霊によって光明を受けた後この光に背き、聖霊のもちたもう真理を否定する者たちには最も重い罰が与えられると主は断言したもうている。

「この故に汝らに告ぐ、人のすべての罪と瀆しとは許されん。されど「みたま」を瀆すことは許されじ。誰にても言をもて人の子に逆らう者は赦されん。されど言をもて聖霊に逆らう者は、この世にても後の世にても許されじ」。

ペテロもパウロも共にこの宣言が真理であることを証した。中でもペテロは教会員に対して次のように言った。

「かれらもし主なる救い主イエス・キリストを知るによりて世の汚れをのがれし後、またこれにまとわれて負ける時は、その後のさまは前よりもなお悪しくなるなり。義の道を知りて、その伝えられたる聖なる誠命を去り行かんよりは、むしろ義の道知らぬを勝れりとす」と。パウロが宣言した言葉はこれよりも更に強い、すなわち

「一たび照らされて天よりの賜物を味い、聖霊に与る者となり、神の善き言と来世の能力とを味いて後、墮落する者は更にまた自ら神の子を十字架につけてさ

らしものとする故に、再びこれを悔改めに立ち返らすること能わざるなり」と。

それであるから、私はくり返して言う、福音の証詞とは謙遜な心で真理を求める者に、啓示によって与えられる絶対的の知識である。その絶対的の力はきわめて強いので、「みたま」が語り告げたもうた時心の中にいささかの疑いもあることができない。これこそ人が、イエスがキリストでありその福音が真理であることを本当に知ることのできる唯一の道である。イエスが此世に住んでそれから死にたもうたこと、イエスの御働きは人々を救うためであつたことを信じている人間は地球上に無数に居る、しかし、これらの人がイエスの誠命に従いまた回復された真理を受け入れないならば、イエスの使命のもつ完全な意義とその使命が人類に及ぼす利益とを知りもしないしまた知ることもしない。

謙遜な心で悔改めをし、また救いの計画に従つてのみこれを知ることができるのである。もしもこれらの人々が神の真理を受け入れ、福音の儀式に従い、忠実にして変ることがなければ道は万人に開けていない。

（インプルーヴメントエラ誌、一九五九年六月号）



# 末日聖徒イエス・キリスト教会歴史粹 (四)

ジョセフ・フィールディング・スミス著

序論 古代および中世に於ける福音(つづき)

## 第二章 背教

十六、免罪符の販売。以上述べたような教会支配者らは非常に強欲となり食欲の精神に充ち満ちたので、免罪符を売って罪を赦すという神を汚す不敬きわまる教義を唱え出した。ローマ教会は、これらの悪はさんげの行と罪の赦免とに關係のある教会の教義を悪用した個人の罪であつたと主張している。この免罪符(または特別赦罪)とはかれらの教えによると「法王が通常許しを与える罪の赦免であつて、さんげの心を抱いている罪人は罪の消滅を申しわたされてしまつてからもまだ残っている刑罰の一部分または全部をこれによつて免れる。従つてこの赦免は罪人の罪を赦したのではない。罪は特別赦罪がかなえられる前に必ず

消し去られなくてはならなかつたからである。特別赦罪は、罪を赦された罪人でさえも、これがなかつたなら煉獄で受けるはずであつた刑罰を消し去るかまたは緩和するだけであつた」と。しかしながら、ヨーロッパ各地に於ける免罪符の販売はこれを許可した者たちが大きな財産を造り出す手段であつた。もしも罪の赦しを求めている者たちが金さえ払えたならばその罪を赦す力を提供されないような種類の犯罪は一つもなかつた。諸国は地区に分けられてこれらの収入の取り立てを受負わされた。歴史家ジョン・ラスロップ・モトレーは次のように誌している「売りに出されたその商品の価格はあらゆる町村(オランダ国内の)で公表された。すでに犯した犯罪またはこれから犯そうとする犯罪に対する神の赦免状は等級をつけた料金に応じて公示された。こうして、たとえば毒殺は十二ダカットと六リールを払えば罪障消滅であつた。また血族間の不倫罪も

三十六リーヴルすなわち三ダカットで罪の赦免を与えられた。偽証罪は七リーヴル三カロリンであった。毒殺でない殺人の赦罪はむしろ安価であった。親殺しでさえもその罪の赦しを神の法廷で一ダカット四リーヴル三カロリンで買うことができた。アンリ・ド・モンフォールは千四百四十八年に親殺しの罪の赦免をその価格で買った。このような仕事を百年そこそ続けたから、ルーテルのような宗教改革者が出てきたのは全く不思議ではなかった。古代教会を愛していた質朴な人々が、金で罪の赦しをかう犯罪で得たこのような収益が基になって、雲に向って少々高く立ち上っているセントペテロ寺院の丸天井の話聞くよりも、むしろこのような神を汚す悪弊から教会が清められる方を望んだのは全く自然なことであった。……オランダは他の国々のように地区に分けられ、法王のところへ入るこの収入を取り立てることを受負わされている。このようにして徴収した金の多くは下劣な集金人たちの手に残っている。古代の宗教を敬愛した誠実なカトリック教徒は四方八方で見せられるこの光景に接しゾツとしてちぢみ上っている。犯罪人たちは金を払って樂園パラダイスを買い、僧たちはこうして支払われた金を勝負事をする家、居酒屋、女郎屋などで使っている。これは自分たちの「聖書」を研究してきた者たちにとってキリストの伝えたもうた救いの計画とは違った救いの計画のように思われる。明らかに初期の使徒たち

の方式から逸脱しているものがある。罪を犯していない保守主義の人々は非常に心を悩ました。しかし、ついにあらゆるこれらの醜行は一人の巨人を奮い起たせてこの巨大な悪と戦わせるのである」と。このようにして聖典に誌された数々の予言は成就した。すなわち「神と呼ばれるあらゆるもの」よりも自らを高くし、その尊き御名によって「至高者至高者に敵して大いなること」を言う一つの勢力によって律法は破られたのである。

### 第三章 プロテスタント（新教徒）革命

一、暗黒時代。この法王王国は宗教的問題に就いても世俗的問題に就いても人民を絶対的に支配したがそれにもあきたらず人間の良心にもその権威を振おうとした。それはこの勢力が榮華を極めた暗黒時代中にくに甚しかった。そして文芸復興と言われている期間中に宗教自由の光明が輝やき初めた時に至るまで遠くこの権威を振うことが及んだのであった。すでに述べたように、文芸復興の前に使われた学問上の言語はラテン語であった。人民は宗教上の思想はもちろんのことあらゆる科学上の教えを受けるにもその祭司らに頼るほか無力であった。当時存在した少数の聖書は聖職者が監視の目を光らせていたから俗人は聖書に近づくことができなかった。また俗人は読み書きができず、ラテン語の解る者もきわめて少なかったから聖書を

手に入れても如何ともすることができなかったであろう。このような状態では、これらの無智なヨーロッパ各国の迷信的恐怖に満ちているだまされ易い哀れな人民たちが、良心を持たない聖職者たちが教える教義か行いかをほとんど何でも喜んで受け入れたことは怪しむに足らない。

二、文芸復興。また人民が光明と真理を得るいろいろな機会をさまたげるため、文芸復興中に聖職者たちが暴力と強制とを用いようとしたことも驚ろくに当らない。人民を威圧して、聖職者たちがいつも人民に無智と迷信の手かせ足かせをかけておくことができたのは、かれらの方が人民よりも大きな知識力を發揮し、また神秘的な諸儀式を行ったことによる。「無智」は聖職者たちの掌中にあった便利な道具であって、これで彼らは大衆に思うような形を与え大衆を型に入れて自分らの好みに合う器としたのである。文芸復興時代に行われた発明発見の助けを得て人民の間に学問が向上し、このようなことを後にすっかり変えてしまふのであった。それは人民が物事に就いて何らかの知的な考えをめぐらすことなしに、また何故にしかじかかうであるかという理由を教わる望みなしには、教義と名のつくあらゆるものをそんなにすぐさま受け入れようとはしなかったからである。更に文芸復興は人類の良心に強制力を加えたり、罪を赦されるために免罪符を売ったりするような、キリストの名によって唱え出された多くの悪事と神

を汚す教義に終止符を打った。終止符とは言えないまでも少くともこのような悪の制度に驚ろくべき変化を与えたのであった。

三、初期に行われた聖書翻訳の数々。明らかにこの支配的宗教勢力は無智から啓発された状態がその権威に敵対して謀叛を起すにちがいないことを悟った。そういうわけで、ローマ教会の布告と規則とを勵行するために数々の厳格な法律が造られた。しかし「宗教改革」中にまた改革以前に普通の人にも解る言葉に訳した聖書の翻訳が数種類あった。

ウィクリフの聖書は千三百八十年に現われたが、その後これにつづいて英語ばかりでなくその他の国語に訳した聖書も現われた。始めのうちは、カトリック教会から何らの認可も得ないでつくったこれらの本を一冊もなくしてしまふ企てがあった。しかしながら、第十五世紀に印刷術が発明されたので宗教自由の運動はこれによって驚嘆すべき刺激を受けた。そして多くの聖書がヨーロッパ中に普及した。印刷時代の来る前に一冊の聖書は金貨五百クラウンの価があった。しかも当時存在していたような聖書は聖職者が保管していて、かれらはこれを最大限の熱誠をこめて見張っていた。しかし印刷の助けによって聖書の価は一冊五クラウンにまで下り、そのために人民は母国語で聖句が読まれるのを聞く特権を持つだけでなく、また独力で聖書が

読める理解力を身につけることができるようになった。

#### 四、聖書を読むことを禁ずる。

英国の年代記々者ヘン

リー・ナイトンは「宗教改革」よりもずっと前に聖書の朗読に就いて有力な考えを述べたが、その時彼は聖書がひろく読まれていることを攻撃し嘆き悲しんで言った「これまで牧師、聖職者たちの独占財産であつた教会の宝石が俗人の共有するものとなることを恐れる」と。英国の大監督アランデルはかつて次のような条令を出したことがある。すなわち「英語聖書の何れの部分といえども、公私ともにこれを讀みかつその後翻譯をなすべからず、これを犯す者は大破門の辛き目に逢うべし」と。エラスムスの新訳聖書翻譯はケンブリッジで禁止された。またクロイドンの教区牧師は教壇から「われわれは印刷を根こそぎなくしてはならない。さもなければ印刷がわれわれを根こそぎなくしてしまふにちがいない」と言った。ヘンリー八世の治世中庶民または特権階級でない者たちが聖書を読むことは議会の議決によつてすでに禁止されていて、人々は聖書の断片を所有していてもオランダやその他ヨーロッパの各地はもちろんのこと英国に於ても火あぶりの刑に処せられた。教会内の義務に怠慢な者たち、または異端邪説を唱える者たちに対し、礼拝のため私人の集りをすることを禁ずる布告がヨーロッパの各地に於て出された。およそ聖書を読むこと、また私宅に於て信仰、聖餐、法王の権威あるい

はその他宗教上の事を論ずることは「すべて死刑に価する」と言つてきびしく禁止された。これらの布告は決して空文ではなかった。火刑の炎を燃えつづけさせるために人間のたき木が修道僧たちによつてたえず供給された。かれらは改革者たちを焼く行為の方が改革者たちと議論するに勝ることを知っていた。死刑は最も議論の余地がない三段論法であつてあらゆる場合にこの手段を用いた」(モトレー著「オランダ共和国の發生」)。

#### 五、宗教裁判。

「オランダ共和国の發生」の著者は、

スペイン統治下に於けるオランダそのほか反抗的の国々に現われていたこの痛ましい不幸な状態を書きつづけて「チャールス五世は彼の發明になるあの恐ろしい「<sup>ブラカード</sup>揭示」と相ならんで法王制度をもち込んで組織した。この「<sup>ブラカード</sup>揭示」はスペインの宗教裁判よりも慘酷な仮面宗教裁判を構成するものであつた。この制度の執行は決してだれることを許されなかつた。聖書を読むべからずという禁令を犯し、刻んだ像をしり目にかけたり、水中にキリストの肉と血が実在することを嘲笑するなどの罪を犯した者たちは王の布告に従つて火あぶりにされ、絞首刑に処せられ、首を切られ、また生き埋めにされた。これらのオランダ人の数は著名な権威者によれば十万人の多きに上っているが、この数はいまだかつて五万人よりも少い数に下つたことはない。

(佐藤龍猪訳)

# 復活は真実なり



スペンサー・W・キンボール

(十二使徒評議員会々員)

去つてしまつた人の体の横わつて  
いる墓の近くに、頭を垂れはりさ  
けるばかりの痛ましい胸をおさえ  
て立つている人たちを見受けたこ  
とだろう。また兵隊たちが墓を大  
きな石で塞ぎ封印して、その人の  
体の盗まれぬ様に傍に番兵を立た  
せていたということも目撃したこ  
とだろう。

しかし、奇妙なことではないか。  
血も流れていない人の死体を墓の  
中にかくまうとは……。十字  
架にかかるのを目撃したすべて  
の人は「これですべては終つたの  
だ」と思ったからだ。

……一瞬の出来事……

しかし、いとも奇妙なことが起  
つたのだ。そこに居つた人は氣付  
いたであろう……。兵隊たちが  
眠り、天使が墓の近くに立つてい  
るのを……。この時、死の静寂  
さの中に横わつていた人の体に活  
力が与えられた。彼は墓の入口を  
通つて外に出、朝のすがすがしい  
空気の中を歩み始めたのだ。こん

なことは、今だかつて起つたこと  
は一度もない。こんなに朝早くの  
出来事だったので、大部分の人た  
ちはまだ深い眠りに落ちていた。

而しながら、このことはすでに永  
遠の深い眠りに落ちてしまつた人  
の霊を呼びさますものであつた。

即ち、この方のよみがえりによつ  
て、何千年という長い間深い眠り  
にあつた正しい人々にも、復活と  
いうことがもたらされたのであ  
る。このことは、たと今のみ起る  
ものである。何故なら復活をもた  
らして下さつた方はイエス・キリ  
スト、即ち神の御子であるからで  
ある。イエスの母視であるマリヤ  
は人間であつたが父は天父なる神  
であらせられた。この故にイエス  
は未だかつて誰れも為し得なかつ  
た事——即ち自発的に自分の命を  
犠牲にし、再びそれを得ること、  
——を果し得る力を有し給うたの  
である。

……質素な部屋……

ある人は、しばらく後、エマオ

兄弟姉妹

もしわれわれが、二千年前、エ  
ルサレムに住んでいたとしたら極  
めて奇妙な出来事を目撃したこと  
だろう。即ちゴルゴタの山に登つ  
て行く多くの人々の行列、この行

る。この三人の中には、足と手を  
釘付けにされて、十字架にうちつ  
けられる若い青年がいた。彼は自  
分が十字架にかかるのにも拘らず  
自身でその十字架を背負つて山を  
登つていた。

列の中に三人の十字架にかかるの  
を目撃しようとしている人が居

る。これより、しばらく後、ある者  
は息を引きとり、すでにこの世を

という村で、クレオパとその同僚とが見知らぬ客と席を共にしているのを見かけたことだろう。二人は、見知らぬ客が彼らと共にパンをさき、彼らのために聖なる教えを説き明かしているのをあつけないとられてみていたが、やがてこの方が墓の中に息たえて、横わっていたところの神の聖なる御子であることを認めた。又ある人は次の言葉を耳にしただろう。

「ああ、愚にして、予言者たちの語りたる凡てのことを信ずるに心鈍きものよ」(ルカ伝二十四章二十五節)

「我は復活なり、生命なり、我を信ずる者は死ぬとも生きん。凡て生きて我を信ずる者は、永遠に死なざるべし」(ヨハネ伝十一章二十五節)

二階の部屋では、十一人の使徒が、一人の方が部屋に入って来て手をあげ、足をみせて、次の如く語るのを耳にして驚嘆した「平安なんじらにあれ」。またこの方は

トマスに向つて「なんじ指をここに伸べて、わが手を見よ、汝の手をのべて、我が脅にさし入れよ、信ぜぬ者ならで信ずる者となれ」(ヨハネ二十章二十六節、二十八節)と云われた。この時トマスは「わが主よ、わが神よ」とこの方をキリストと認めて叫んだ。この方は再び「なんじら何ぞ心騒ぐか、何ゆえ心に疑惑おこるか、わが手わが足を見よ。これ我なり、我を撫でて見よ、見よ、霊には肉と骨となり、我にはあり、汝らの見る如し」。(ルカ伝二十四章三十八節、三十九節)と云われた。そしてその証拠として手足の傷あとを彼らにお示しになられたのである。

この方は彼らの前で魚と蜂みつを食された。即ちこの場には単なる霊ではなく、生ける復活体を有し感情を持ち、地上を歩き、人と語るところの人が毅然と存在していたのだ。そして語る言葉によって自己の神性を世に明らかにされるのである。

たのである。

「然れど聖霊、なんじの上に臨むとき、汝ら能力をうけん。而してエルサレム、ユダヤ全国、サマリヤ、及び地の極てにまで我が証人とならん」。(使徒行伝一章八節)

・・・誤りなき証拠・・・

この出来事に続き、四十日の間たしかに主は復活されたということが何回となく証明された。即ち復活した主イエスは、聖徒たちや使徒ら及び五千人もの人々に現れ給ひ、彼らのすべては主は確かによみがえられたということを証明したのである。彼らは主が生きて居られた時主と密接な関係を保つていたが、今や不滅の生涯を送らんとする主と相まみえたのである。

のなのである。

「神は死人をよみがえらせ給うとも、汝らなんぞ信じ難きとするか」(使徒行伝二十六章八節)とパウロはアグリッパ王に質問した。而しながら主と相まみえ、主と相語った人達の言葉は、極めて力強い迫力あるものであった故、王は「汝説くこと僅かにして我をキリストアンたらしめんとするか」といつた。(使徒行伝二十六章二十八節)

誠に主は生き給うのである。主は復活の朝早く、墓より、触知し得る不滅の復活体を持つてお現れになった。

主は生れて死し、そして又復活し給うた。即ちすべて生きとし生けるものに不滅に通ずる道の戸を開け給ひ、与え給うた。誠命を守るすべての人達に永遠の生命という大きなお恵みを与え給う方こそ主イエス、神の御子であらせられるのだ。以上すべてを主の御名により語り奉る。アーメン

## 親愛なる会員の皆様

私は、ボート・エリザベスに於ける末日聖徒イエス・キリスト教会の会員であります。そして私は紙上で貴地に多くの支部のあることを知り、どなたか会員で私共と文通しお互に教会のことやその他お互の国情などを知らせ合う方が居られないかと希望して居ります。

ド 私は現在四十代であります、十二才の時に会員となりました。けれども教会外の人と結婚をしましたので永い間教会を離れて居りましたが夫が亡くなりましてから再び教会に戻り、福音による喜びを受けて活動致して居ります。私の二男はバプテスマを受けましたが長男はまだ会員になって居りません。

私共は町の中程から四・五哩離れた処に美しい教会堂を持って居ります。三つの教室と一つの事務室と二つの小さな食器棚室と一つの台所があります。

ボート・エリザベスには約一四〇人の会員が居ります。

こちらは今、夏に入り、日ましに暑くなって居ります。すべての人が近づくクリスマス

マスの準備におおわらわです。

この手紙はクリスマスには遅過ぎたかも知れませんが皆さんがよい新年を迎えられるように望んで居ります。

何卒直ぐ御返事を下さい。

Mrs. Morine Puffett.

1 Aldershot Court.

Military Rd.

Port Elizabeth South Africa

## 親愛なる伝道部長様

私は貴伝道部の教会々員とエスペラント語で文通したく思っています。日本伝道部にエスペラント語がわかる会員が居られますか。若しも居りましたら姓名と住所をお知らせ下さいませんか、切手を張った返信封筒を同封致しますから何卒よろしくお願い致します。

Albert I. Merrell

9219 Brookside Circle

Spring Valley

California

## 北部極東伝道部長

突然御面倒なお願いを申し上げますが貴方の伝道部内に英語を話し書くことの出来る、四十五才から五十才位の年令で私共との文通に興味を持つと思われる姉妹が居られましたらその姓名と御住所をお知らせ下さいませんか。若い時から私は、永年の間、英国の教会々

員と文通して参りましたが非常に興味深く又教養を高め証詞を強め又系図探求上大変な助けとなりました。私はあらゆる地方の会員と交ることを楽しみに致して居ります。

何卒よろしくお願い致します。

Mrs. Roger A. Aldridge

Route 2, Box 89.

Hurt, Virginia

## 親愛なる友だちの皆様

左記の少女たちは皆末日聖徒イエス・キリスト教会の会員で日本のレター・フレンドを求めて居ります。彼等は皆六年生であります。

GERALDINE STUBBS

P. O. BOX 481

PAROWAN, UTAH, USA

ANNETTE STUBBS

P. O. BOX 481

PAROWAN, UTAH, USA

KATHERINE ROWLEY

P. O. BOX 424

PAROWAN, UTAH, USA

DIANA ORTON

P. O. BOX 453

PAROWAN, UTAH, USA

SHERY WORTHEN

P. O. BOX 641

PAROWAN, UTAH, USA

NICKIE APPLGATE

P. O. BOX 386

PAROWAN, UTAH, USA





## 支部所在地

阿倍野 大阪市阿倍野阪南町中一ノ三八  
旭川 旭州市八条五丁目  
福岡 福岡市薬院大通二ノ五五  
群馬 高崎市並榎町二七五  
広島 広島市古田町古江四〇〇ノ三  
金沢 金沢市成瀬町一一ノ四 野田方  
甲府 甲府市富士見町一  
松本 松本市沢村一六〇四  
室蘭 室蘭市幸町八九  
名古屋 名古屋市中昭和区北山町三ノ四一  
新潟 新潟市中大畑町五五七 金井方  
西ノ宮 兵庫県西ノ宮市田代町一一一  
岡町 大阪府豊中市岡町北二ノ一八  
岡山 岡山市国富一ノ一九 丹下方  
小樽 小樽市富岡町一ノ三五  
三ノ宮 神戸市灘区篠原本町四ノ三五  
札幌 札幌市北二条西二四丁目  
仙台 仙台市光禅寺通り二八  
東京中央 東京都渋谷区八幡通一ノ三四  
東京北 東京都豊島区椎名町四ノ二〇六八  
東京南 東京都大田区南千束町二四九  
東京西 東京都武蔵野市吉祥寺三六八  
山形 山形市諏訪町三九七  
柳井 山口県柳井市今市三九一  
横浜 横浜市中区北區篠原町二九  
普天間 沖縄宜野湾村野嶺区三二八  
那覇 沖縄那覇市松尾区一三九

## 編集後記

四月はいろいろな意味で大切な月であります。四月は新生、復活であり発刺たる生氣であり、爛漫たる桜花であり、緑であり、希望であり、盛んな意気であります。各地で大会が催されて華やかな気分がいよいよ盛り上ります。今年の中でも特に大切なこの月を意義のある月にしたいものです。

(佐藤竜)

四月の新学期にあたり特集記事として教会の教育計画についての記事を載せてみました。ブリガム・ヤングの「神のみたまがなければABCやかけ算九々さえも教えてはならぬ」という根本理念が生かされた教会の教育計画のみごとな発展をみるととき日本にも教会立の大学の設立を願う気持が一段と強まります。各地に教会堂を、そして次は学校をとばアンドラス伝道部長の意見です。

(大塚)

「我は復活なり、生命なり、我を信ずる者は死ぬとも生きん」と言つてラザロを生き返らせ給うた主のためたい復活の日を私たちはここに再び迎える、パウロは復活なくば宣教も信仰も空しいと、徹底して復活を説いた。ロシア人はクリスマスよりも復活を祝う。ヴォスクレセーニツているエ(復活)は復活の日として安息日の名称ともな(只綴中の末尾の軟音符と母音によって両者を区別する)キリスト教の本質がキリストの十字架上の死と復活にあると言われるが、このよき日を教会回復のためたい日(真の主の降誕日)と同じ本月に迎える末日聖徒には本月こそ最上の月である。

(渡部)



4月号表紙—イエス・  
キリストの復活

月刊「聖徒の道」第四巻第四号

一九六〇年四月一日発行

実価 一ケ年 三百円

一部 三十円

編集兼  
発行人

ポール・C・アンドラス

発行所

東京都港区麻布広尾町十四

末日聖徒イエス・キリスト教会

北部極東伝道部

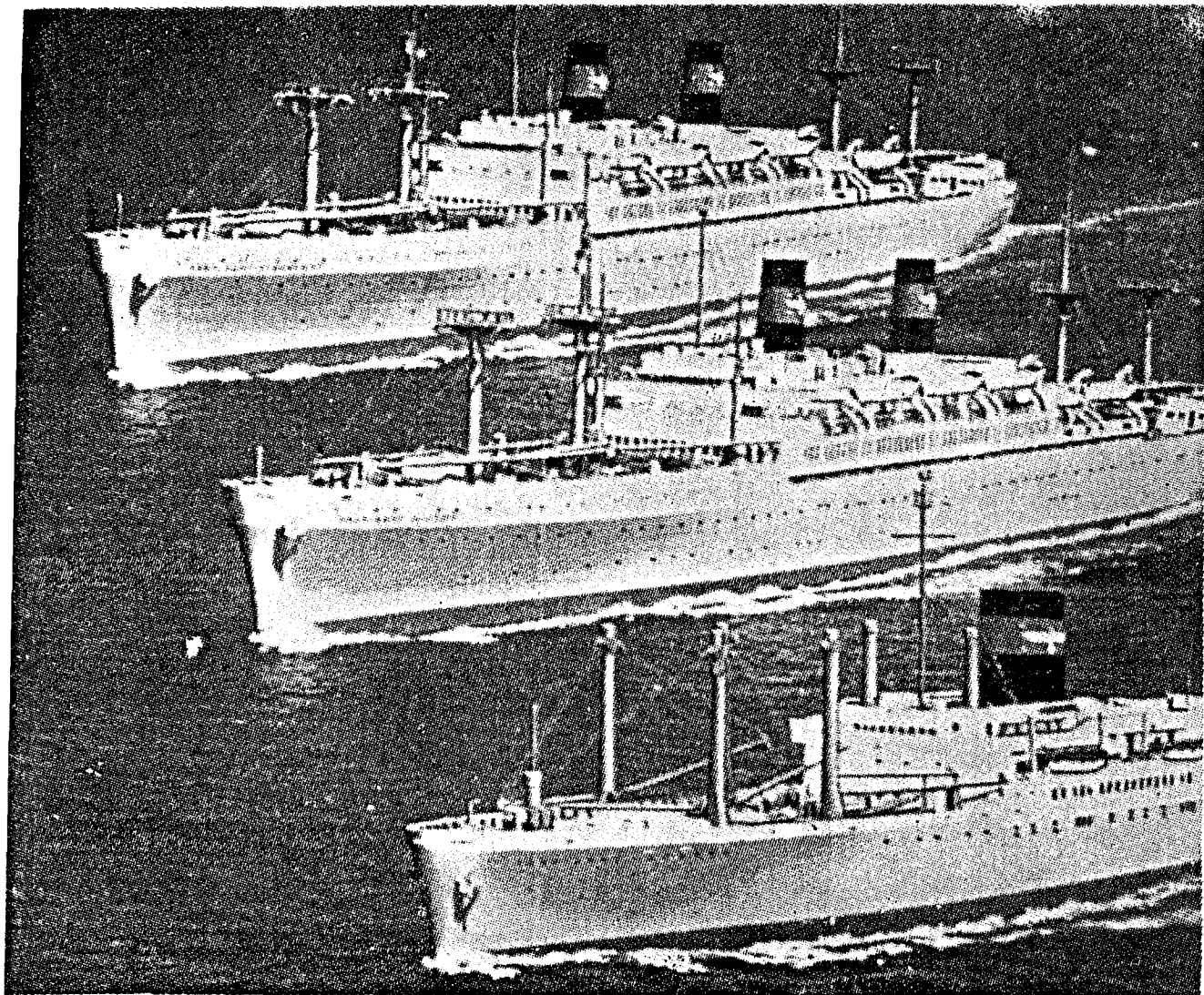
# 内 案 書 図

|                 |        |       |          |        |       |
|-----------------|--------|-------|----------|--------|-------|
| 教義と聖約           | 高価なる真珠 | モルモン経 | 教義と聖約    | 高価なる真珠 | モルモン経 |
| 上質革製合本……一〇〇円    |        |       | 合本……三〇〇円 |        |       |
| モルモン経           | モルモン経  | モルモン経 | モルモン経    | モルモン経  | モルモン経 |
| 二〇〇円            | 二〇〇円   | 二〇〇円  | 二〇〇円     | 二〇〇円   | 二〇〇円  |
| 信仰簡条の研究……三三〇円   |        |       |          |        |       |
| モルモンとは……一〇〇円    |        |       |          |        |       |
| 完成への道……二〇〇円     |        |       |          |        |       |
| 初等協会教科書……一五〇円   |        |       |          |        |       |
| 総合聖句の手引……一五〇円   |        |       |          |        |       |
| 日本系図探究要覧……一〇〇円  |        |       |          |        |       |
| 古代アメリカの生活……一〇〇円 |        |       |          |        |       |
| 旧約聖書物語……一五〇円    |        |       |          |        |       |
| 家督権の祝福……一〇〇円    |        |       |          |        |       |
| 扶助協会手引……五〇円     |        |       |          |        |       |

## 日曜学校用

|                 |                 |                    |                    |                 |
|-----------------|-----------------|--------------------|--------------------|-----------------|
| 宗教と生活Ⅱ……一五〇円    | よきおとづれ……一〇〇円    | 聖書物語……一五〇円         | 福音の実践……一五〇円        | 聖典中の指導者……一五〇円   |
| M I A 用         |                 |                    |                    |                 |
| 役員と指導書の手引……一〇〇円 | 我らは奉仕する……一〇〇円   | Mメン・グリーナーの手引……一〇〇円 | 演劇指導者基礎知識と脚本集……七五円 | 演説が上手になる法……一五〇円 |
| 社交ダンス必携……一六〇円   | 新しいフォークダンス……五〇円 | 讃美歌及び歌集            |                    |                 |
| 末日聖徒讃美歌……三〇〇円   | 末日聖徒讃美歌抜萃……三〇〇円 | 子等は歌う……一〇〇円        | レクリエーション歌集……四〇〇円   |                 |

……註文は各支部長へ……



## アメリカ向定期に出帆する 豪華船プレジデント号

明日といわず、今すぐ桑港向け出帆の一等とエコノミイ・クラスの完備したプレジデント・ウィルソン号又は姉妹船クリブランド号又はプレジデント・フーバー号(一等のみ)に御乗船の予約を御申込み下さい。

豪華なプレジデント・スタイルで素晴らしい航海をお約束申し上げます。

御希望によって、海空連絡スケジュールを組むこともできます。早速弊社支店又は代理店にお問合せ下さい。



太平洋横断

世界一周

東京 (201) 6831-8 横浜 (8) 7541-5 神戸 (3) 5381-4 大阪 (23) 0260